



冷媒管理システム RaMS

Refrigerant Management System

RaMS 管理代行

【 整備者・取次者 】



一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

RaMS管理代行の方法

1. 機器所有者（管理者）の課題
2. 管理業務代行者として提案
3. 管理業務代行の流れ～事業所登録
 - 事業所登録①
 - 事業所登録②
4. 管理業務代行の流れ～新規機器登録
 - 新規機器登録①-1
 - 新規機器登録①-2
 - 新規機器登録②
 - 新規機器登録③ 転記
(充填回収業者がRaMSを未利用)
5. 管理業務代行の流れ～機器追加登録
 - 取次者として連携/機器追加登録①-1
 - 取次者として連携/機器追加登録①-2
6. 管理業務代行の流れ～簡易点検
 - 簡易点検①
 - 簡易点検②
 - 簡易点検③
7. 管理業務代行の流れ～定期点検
 - 定期点検①
 - 定期点検②
8. 管理業務代行の流れ～行程管理票
 - 行程管理票起票①
 - 行程管理票起票②
 - 行程管理票起票③
(充填回収業者がRaMSを未利用)

1. 管理者の課題

◆フロン排出抑制法を遵守するための管理業務の増加

1. 管理担当者の選任(管理体制の構築)
2. 管理すべき使用機器(第一種特定製品)のリスト作成
3. 点検整備記録簿(ログブック)の作成と整備の記録、保存
4. 機器の適切な設置と適正な使用環境の維持
5. 簡易点検(全ての機器、3ヶ月に1回以上)と定期点検 (7.5kW以上の機器)の実施
6. 漏えい時における適切な対処(繰り返し充填の禁止)
7. 機器廃棄時のフロン回収(行程管理票による廃棄処理)
8. 算定漏えい量の算出と国への報告(1,000t-CO₂以上の場合)

とても管理ができない…、
「フロン排出抑制法」を遵守
できない…
まあ、いいかそんなに厳し
くないだろう…



これは法令違反です、罰則があります！

企業の信頼感を
失いかねません！

◆冷凍空調機器をとりまとめる管理担当者の悩み

●事業所の総務、施設担当者

1. 担当者はいるが、冷凍空調機器だけの専任はおらず他の業務で手一杯
2. 機器毎に設備業者が異なる為、充填証明書・回収証明書も書面でバラバラで紙での保存・管理が負担
3. 算定漏えい量の計算に時間が掛かって大きな負担
4. マクロを組んでExcelで計算はしたが、機器を入れ替えたり担当者が変わったら翌年度はできるか不安
5. ISO14001を取得しているけど、「フロン排出抑制法」遵守のエビデンスはどうしたらよいだろうか！！

●地場のスーパーの店長

1. 日々の業務があり、冷凍空調機器のフォローなどできない
2. 本社にまかせている

2. 管理業務代行者として提案

事業所（管理者）の管理業務（委託契約）をRaMSで簡単管理

● 委託を受けた事業所・スーパーの管理代行者として、RaMSに事業所登録

- 1) 対象となる使用機器をリストアップし、RaMSに点検整備記録簿を作成(ログブック登録)
- 2) 他の充填回収業者が行った整備内容も管理代行者としてRaMSのログブックに記録・保存
- 3) 保守委託契約のひとつとしてログブック登録機器の簡易点検業務を実施
- 4) 定期点検機器もサポート、他の業者が設置した機器の点検時期などフォロー

● RaMS利用ならではのメリット

- 1) 機器の設置から簡易点検、定期点検のサポート、算定漏えい量の算出、廃棄時の処理まで法律で必要とされる機器の管理業務を電子的に一括管理できる
- 2) 充填証明書、回収証明書はもとより管理者が法的に管理・保存すべき書面(行程管理票A、E票含)は全て電子的な保存で法的に担保されるので、紙での保存・管理は一切不要
- 3) 国の指定した唯一の情報処理センター機能を有し、データの機密保持、保存も安全、安心
- 4) ISO14001(環境マネジメントシステム)の維持管理も容易
- 5) データの登録作業は履歴やプルダウンメニューの活用で負担を軽減
- 6) 少ない費用で運用、管理可能
- 7) 担当者が代わっても引継ぎが容易
- 8) 管理業務の代行者として、事業者(管理者)と緊密な関係の構築が可能

3. 事業所登録① 【整備者・取次者】

STEP1 RaMSに事業者登録

● 取次者登録

- 1) 管理代行者となる取次者は、**取次者として機器の新規登録はできません**

● 管理者登録(委託代行として)

★管理者とRaMSを利用してフロン管理を代行する**委託契約**を結んだ上で、管理者として登録
***管理者と事業所登録したID、パスワードを共有しておくことが望ましい**

- 1) 管理者の法定管理者(本社)の名称・住所
- 2) 施設管理者(事業所)の名称・住所
- 3) 機器管理従業者の名前(管理代行担当者)
- 4) 管理代行担当者のE-mail
- 5) ログブックの購入、更新などのポイントを用意する

STEP2 RaMSに機器登録(ログブック作成)

● 管理者の冷凍空調機器

- 1) 管理者の事業所の冷凍空調機器のリストアップ
- 2) ログブックの準備

● ログブックへの機器登録

- 1) 管理者の機器を確認して、**管理者としてログブック登録**
- 2) **充填回収業者へ**整備時にログブック登録を依頼し、整備者ありと処理して追加してもらう



3. 事業所登録② 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. RaMSへ整備者・取次者として登録し、機器所有者(管理者)と管理業務代行委託契約書を締結

1



JRECOのHP、ログインページへから入る

2



JRECOのHPから事業所登録

3



※必須項目と支払方法を選択

4



管理者と委託契約書を締結

2. 管理者が既にRaMSを利用済みの場合、登録していますHで始まる事業所コードとログインID・Passを共有

1

事業者コード:Hxxxxxxxxx(Hで始まる9桁)
ログインID:xxxxxx
パスワード:xxxxxx



管理者



管理者
(代行)
取次者

3. 管理者がRaMSを未利用の場合、管理者の代わりに事業所登録(管理者・廃棄者)をします

(複数事業所がある場合は各事業所事に事業所登録をし、それらを統括管理する統括管理部署を登録してリンクを形成します)

1



JRECOのHPから事業所登録

2

- 管理者の法定管理者(本社)の名称・住所
- 施設管理者(事業所)の名称・住所
- 機器管理従業者の名前(管理代行担当者)
- 管理代行担当者のE-mail

管理者の情報を入手

3



※管理者と事業所登録したID、パスワードを共有しておくことが望ましい

統括部署登録

管理者・廃棄者と充填回収業者の本社等の統括管理部署を登録します。統括部署において直接機器の運用管理も行う場合には、事業所としてもご登録ください。

4. 新規機器登録①-1 【整備者・取次業】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【管理者代行として機器を登録する場合】

1. 機器登録準備として管理者が所有する機器のリストアップ

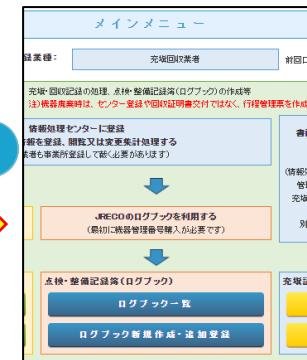
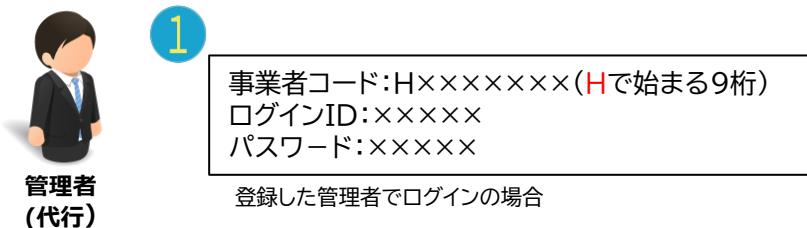
1	NO.	事業所名	メ-カ-名	機器名称	型式	フロン種	初期充填量	設置年月日	...
1	東京営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2022/5/22	...	
2	東京営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2022/5/22	...	
3	東京営業所	三洋電機	冷凍冷蔵庫	M98999	R23	2	2022/9/1	...	
4	大阪営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2020/12/1	...	
5	大阪営業所	日立	ビルマル	H543-M	R32	1	2021/4/1	...	
6	福岡営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2023/6/6	...	



管理者から機器リストを入手

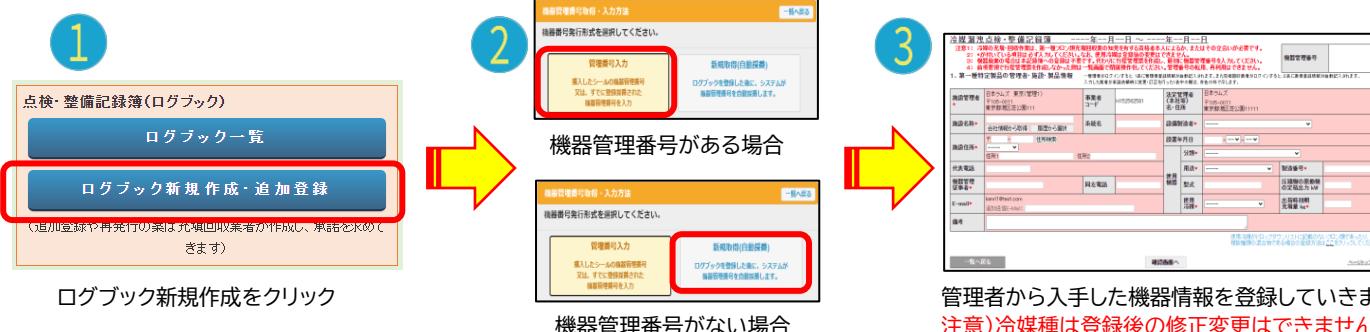
2. RaMSに機器を登録するには、管理者でログイン

※管理者でも機器の登録は可能ですが、転記作業で設置時追加充填量の入力をする必要があります。



メインメイン画面

3. 管理者から入手した機器リストの情報をログブックに登録していきます



『機器の一括登録】
ログブックへの機器の登録は、一台ごとの登録となります。

複数台一括登録の場合は代行入力
サービス(別途費用)をご利用できます。
JRECO担当までご相談ください。

4. 新規機器登録①-2 転記 【整備者・取次業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【管理者代行として機器を登録する場合】

1. 設置時追加充填量の入力処理を管理者として転記処理を行い、機器の登録完了

※充填回収業者がRaMSを使用していない場合は、設置時追加充填量の入力を管理者にて行えます。機器一覧の操作から転記処理を行って下さい

1 点検・整備記録簿機器一覧

次回簡易
点検期限

次回定期
点検期限

製品施設 都道府県	最終 更新日	操作
東京都	2024-07-05	[初回未登録] [転記] [閉鎖]

管理者でログイン後、点検・整備記録簿機器一覧の操作欄から転記を選択し、「2.漏洩点検・整備・回収・充填記録」の「点検・整備区分」にある設置時追加充填量の入力処理が終了すると、整備・定期点検の入力が可能になります。

2
ご確認ください
一覧へ戻る

転記について

充填回収業者から紙面による充填証明書、回収証明書の交付や、点検や修理等の作業報告書の提出を受けた管理者が、その内容をログブックに転記するためにご利用戴く画面です。

1回の転記を行うごとに、100円・消費税の登録費用が管理者に課金されます。

(但し、「設置時追加充填量」の登録まではログブックの新規作成費に含まれますので、別途登録費用は不要です。)

充填回収業者に作業を依頼する際にRMSの利用を指示しログブックに入力して貰えば、書面での証明書の交付や転記入力は不要となり、管理者は入力内容を承認するだけで登録できます。

OK

転記についての注意が表示されます。設置時追加充填量の入力処理はログブック作成費用に含まれますので、無料となります。整備・点検記録などの入力などの場合は、費用が発生いたします。

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録								
<p>充填物が漏洩する場合は、回収・充填を行なってください。</p> <p>一度回収して作業者にその冷媒を充填した場合は「[追加充填量]」に新たな冷媒を充填した量は「[追加充填量]」に記入して下さい。</p> <p>【顧客・再生・保管】欄に回収量から回し充填量を引いた量で、自動計算されます。数値が0以外の際に表示される際をそのまま残せば、処理用の行程管理票が自動作成されます。(無料)</p> <p>呼出点検や整備後点検等をもって定期点検に代える場合は、「[点検・整備区分]」を「定期点検」として下さい。</p> <p>定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検記録も記入して下さい。記入しないと次回期限が表示されません。</p>								
作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷媒	回収量 kg*	戻し充填 量 kg*	追加充填 量 kg*	破壊・再生 ・保管量 kg	点検内容*	点検結果*
----▼ 入力日の日付を記入	設置時追加充填量 ▼	410A						
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容			直ちに修理困難な場合はその理由		修理予定日	
備考*	<p>充填回収業者の名前 と登録番号、証明書 の交付年月日を記載 あれば番号も記入く ださい。</p>							

設置時追加充填量の入力処理を行ってください。

4

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録

作業年月日	点検・整備区分	充填冷媒	回収量 kg	戻し充填量 kg	追加充填量 kg	破壊・再生・保管量 kg
2024-07-11	設置時追加充填量	R410A			0.00	
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容			直方に修理区	
備考	転記処理					

戻る 登録

内容を確認して登録完了です

4. 新規機器登録② 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【充填回収業者に機器登録を依頼する場合】

1. 新規機器の登録を充填回収完了業者に依頼をすれば、設置時追加充填量の処理まで一度に行えます

※新規の機器登録に費用が発生しますので、あらかじめ充填回収業者と打合せをしてください

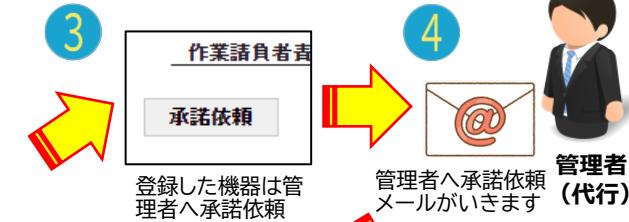


1

登録する機器の情報を充填回収業者へ伝えます

2

設置時追加充填量の処理がされます



4

充填回収業者の機器一覧には承認待ちと表示されます

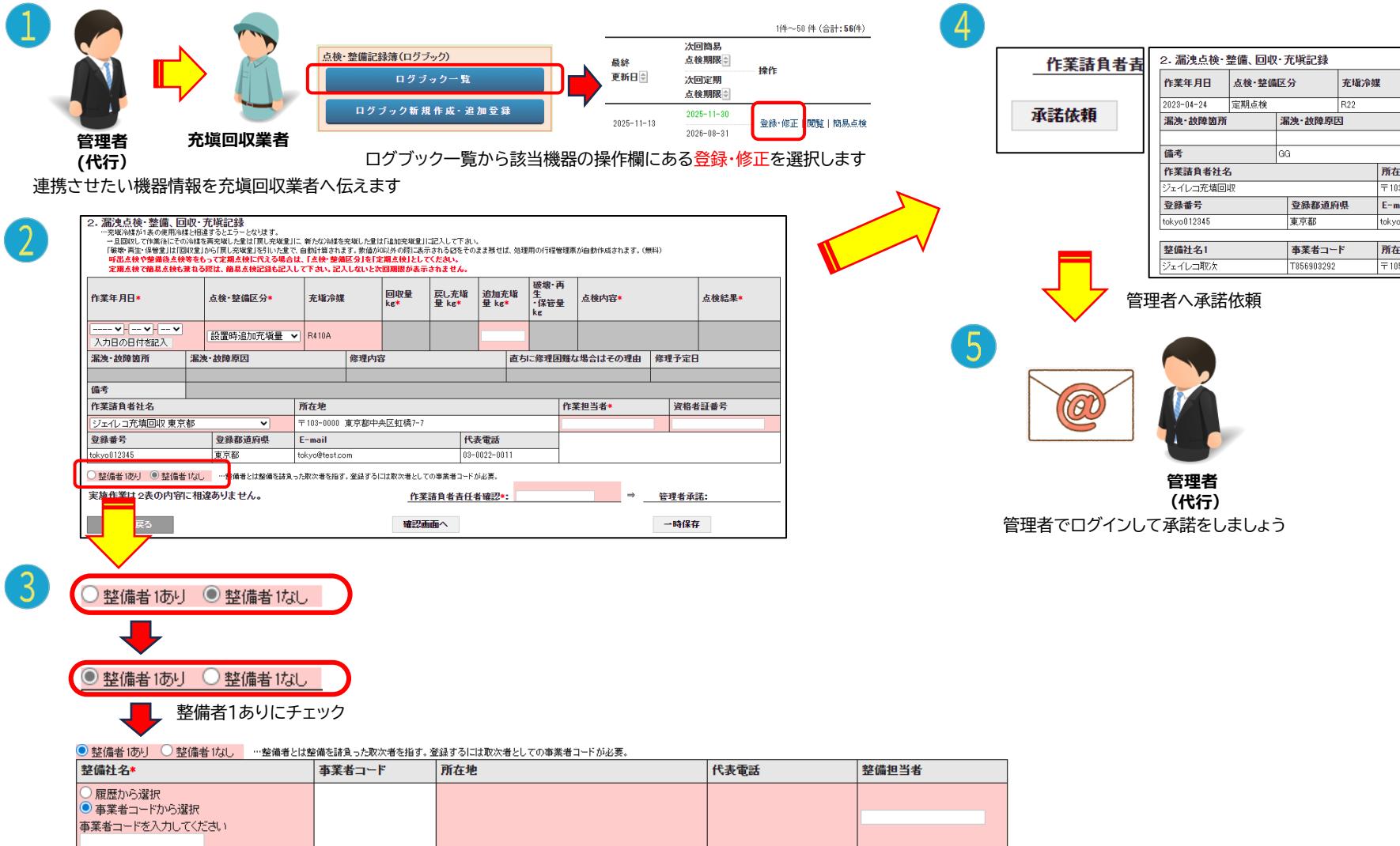
2. 管理者でログインし、機器の登録承認をしましょう



5. 取次者として連携 / 機器追加登録①-1 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

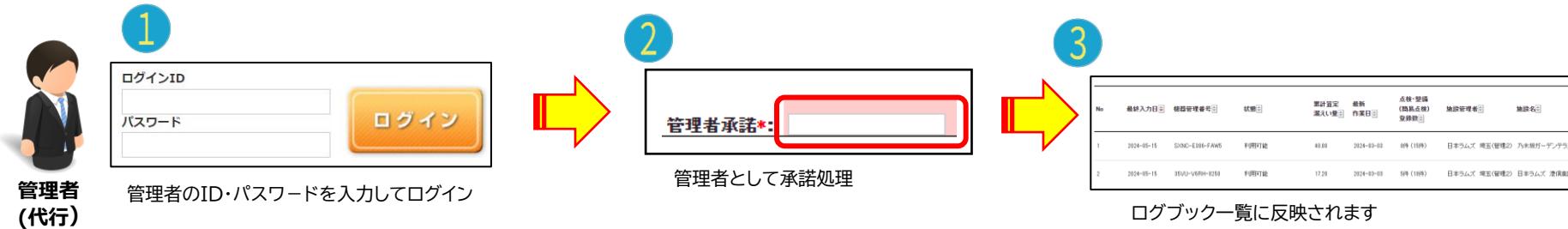
1. すでにRaMSに登録してある機器に取次者を連携させる場合、充填回収業者に機器登録情報から**整備者あり**として登録をしてもらいます ※新規機器登録時も整備者ありで登録できます



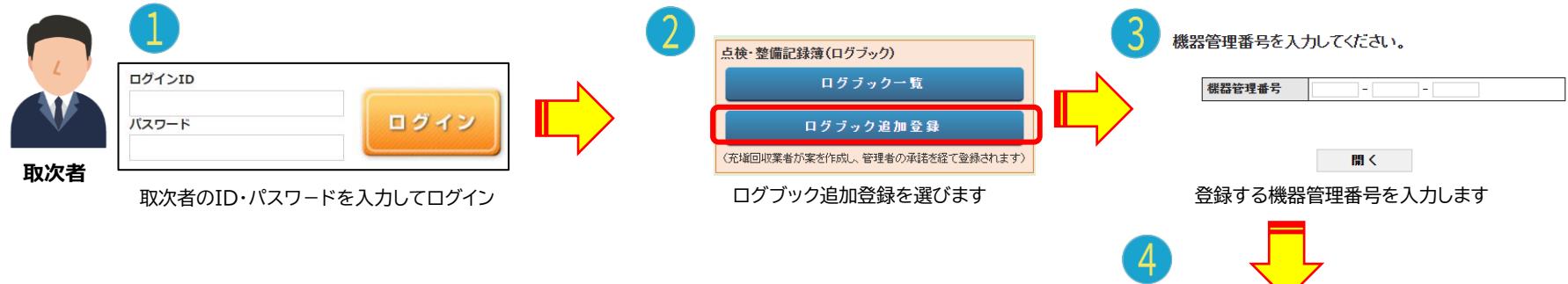
5. 取次者として連携 /機器追加登録①-2 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

2. 充填回収業者からの承諾メールを管理者としてログインして承諾後、取次者の機器リストに反映されます



3. すでにRaMSに登録してある機器を取次者の画面から登録する場合 **※新規機器登録はできません**



※取次者としてログインし、すでに登録されている機器番号から、機器の追加登録を行うことができますが、その時に簡易点検の処理を行なう必要性が生じます。

どうしても取次者のログブック一覧に表示させたい場合は、簡易点検業務と一緒に登録をお勧めします。

簡易点検入力処理後、取次者のログブック一覧に反映されます

6. 簡易点検① 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 簡易点検業務は3ヵ月に1回実施しましょう

簡易点検は、どなたがやっていただいてもかまいません、毎月実施でもかまいません



管理者
(代行)

1

事業者コード:Hxxxxxx(Hで始まる9桁)
ログインID:xxxxxx
パスワード:xxxxxx

管理者でログイン

2

ログインID
パスワード

ログイン



3

メインメニュー
管理者: 充電回収業者
充電: 回収記録の処理・点検・整備記録(ログブック)の作成等
注: 営業実績時は、セイタ・登録や回収証明書交付ではなく、行程管理票を作成
情報処理センターに登録
新規登録又は変更登録
新規登録又は変更登録
RECOのログブックを利用する
(最初に機器管理番号入力が必要です)
点検・整備記録簿(ログブック)
ログブック登録
ログブック新規作成・追加登録
メイン画面から
ログブック一覧を選択

4

点検・整備記録簿機器一覧					
No	最終 入力日	機器管理番号	状態	製品施設 都道府県	最終 更新日
1	2024-02-02	KPMG-P8WC-SVDX	利用可能	東京都	2023-04-28 [更新]

ID・パスワードを入力してログイン

ログブック一覧から該当機器を探しましょう

簡易点検
ワンポイント

点検時期の表示: 表示 非表示 切替

「表示」を選択すると次回簡易点検と次回定期点検の実施期限日を表示し、且つ日付の文字色は黒から下記の様に変わります。
(簡易点検で常時監視システムを利用している場合は、「常時監視中」と表示します。)

簡易点検:期限(前回点検日の翌月1日から起算して3ヵ月後の月末日)の15日前で緑色、過ぎると赤色

定期点検:期限(前回点検日の翌月1日から起算して1年後または3年後の月末日)の30日前で緑色、過ぎると赤色

但し、前回点検記録が未登録の場合は「初回未登録」と表示します。

なお定期点検期限は、ログブックの1表における圧縮機定格動力が7.5kW未満の機器では「対象外」、同欄が空欄の場合には「未記入」と表示します。

● 点検・整備記録簿機器一覧

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
[更新]	2024-04-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 閉鎖
2024-02-02	2024-09-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 閉鎖

簡易点検15日前を過ぎると緑色に変化

● 点検・整備記録簿機器一覧

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
[更新]	2023-11-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 閉鎖
2023-08-23	2026-06-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 閉鎖

簡易点検期日を過ぎると赤色に変化

5

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
[更新]	2023-10-31	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 閉鎖
2024-03-18	2024-10-31	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 閉鎖

操作から簡易点検を選択します

6. 簡易点検② 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

2. 簡易点検内容を入力

簡易点検した内容を入力していきますが、デフォルトの点検項目以外にオリジナル項目の作成ができます
※管理者以外が簡易点検を行うと、作業結果のメールが管理者へ送付されてきます。(承認行為なし)

冷媒漏洩点検・整備登録簿 2019年2月14日 ~ 2019年2月14日

注意:当社の光地・回転率は、同一コンペクト回収業者の見本によるか、またはその立会いが必須です。

※特許登録している機器は、記入する際は必ず登録番号を記入してください。また、お問い合わせ用の機器登録番号を記入する場合は、必ず登録番号を記入してください。

最終更新:2024-03-18

機器管理番号 N0W+3D6A-UY2N

施設管理者	日本マムズ 東京(管理1) 〒105-0011 東京都港区芝公園111	事業者コード	H15265281	機器管理者(本社等)名・住所	日本マムズ 〒105-0011 東京都港区芝公園1111
施設名称	MSW	系統名	実験室K	設備製造者	手書き入力 ▼ TDK電機
施設住所	〒160-0068 住所検索 和歌山県	設置年月日	2013-12-14	分類	ビル用パッケージエアコン
代表電話		用途	空調用	製造番号	12345678
機器管理者従事者	若山 寛利	型式	PAR-33339	巨頭機の動機の定格出力 kW	10.8
E-mail	kanri@test.com	使用冷媒	R22 GWP-1760	出荷時初期充填量 kg	20.00
備考	機器の備考欄				

2. 簡易点検登録

作業年月日*	簡易点検フォーマット*	点検者名*
----v----v----v	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	
入力日の日付を記入		
1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2. 室外機及び周辺の油のにじみ	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 热交換器の霜付き、油にしみなど	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6. 濡れい兆候	<input type="なし"/> ナシ	コメント:
7. 気付き事項	<input type="コメント"/>	コメント:
<input type="checkbox"/> 常時監視システム利用		

3. 簡易点検履歴 ...記入された内容が自動記載されます。

状態	伝票番号	作業年月日	簡易点検フォーマット	操作
完了	S0001	2021-07-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉
完了	S0002	2021-12-17	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉 保養
完了	S0003	2022-03-17	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉 保養
完了	S0004	2022-10-28	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉
完了	S0005	2022-12-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉 保養
完了	S0006	2022-12-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉 保養
完了	S0007	2023-03-06	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉
完了	S0007	2023-06-15	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	開閉

一覧へ戻る

確認画面へ

ページトップ ▲

簡易点検 ワンポイント

作業年月日*	簡易点検フォーマット*	
----v----v----v	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	
入力日の日付を記入		
1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2. 室外機及び周辺の油のにじみ	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 热交換器の霜付き、油にしみなど	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6. 濡れい兆候	<input type="なし"/> ナシ	コメント:
7. 気付き事項	コメント:	

デフォルトでエアコンや冷凍冷蔵庫の簡易点検項目を選択できますが、貴社オリジナルの内容で簡易点検を行う場合は、オリジナルフォーマットで簡易点検を行う事ができます。

【1表】
施設管理者情報
機器情報が確認
できます

【2表】
簡易点検内容を
入力します

【3表】
簡易点検の履歴
を確認できます

簡易点検フォーマット*
ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン
ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン
大型冷凍機
ショーケース・業務用冷凍冷蔵庫
冷凍冷蔵庫
その他

作業年月日*	簡易点検フォーマット*	
----v----v----v	その他	
入力日の日付を記入		
1.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
7.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
8.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
9.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
10.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
11. 濡れい兆候	<input type="なし"/> ナシ	コメント:
12. 気付き事項	コメント:	

6. 簡易点検③ 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

3. 簡易点検内容を入力 一括入力

同じ種類の機器であれば、簡易点検の入力を一括で30台まで行う事ができます

● 点検・整備記録簿機器一覧

1

複数簡易点検記録一括登録

点検時期の表示: 表示 非表示 切替

「表示」を選択すると次回簡易点検と次回定期点検の実施期限日を表示し、且つ日付の文字色は黒から下記の様に変化します。
(簡易点検で常時監視システムを利用している場合は、「常時監視中」と表示します。)

簡易点検:期限(前回点検日の翌月1日から起算して2ヶ月後の月末日)の1日前で緑色、過ぎると赤色

定期点検:期限(前回点検日の翌月1日から起算して1年後または3年後の月末日)の30日前で緑色、過ぎると赤色

但し、前回点検記録が未登録の場合は「未登録」と表示します。

なお定期点検期間は、ログブックの表における圧縮定期動作が7泊W満の機器では「対象外」、空欄が空欄の場合は「未登記」と表示します。

3

簡易点検記録

…簡易点検は定期点検と兼ねても結構ですが、簡易点検の記録は定期点検記録とは別に作成してください。
(本画面右上等の次回簡易点検期限は、簡易点検記録の登録日から90日後の日付を表示します。)

注)フォーマットを変更するには前画面に戻ってください

作業年月日*	簡易点検フォーマット	点検者名*
---	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	
入力日の日付を記入		
1. 室外機の異常振動・異常運転音状況		
2. 室外機及び周辺の油のにじみ		
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など		
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無		
5. (店舗用パッケージエアコン) 热交換器の霜付き、油にじみなど		
6. 漏えい兆候		
7. 気付き事項		
コメント:		

簡易点検内容を入力します

4

1件~30件(合計: 46件)

操作

一括変更対象

系統名	製品施設	最終更新日	次回簡易点検期限
製品分類	都道府県	全件選択・解除	次回定期点検期限
1号館	東京都	2025-10-20	2025-09-30
ビル用パッケージエアコン			2027-08-31
		【未回未登録】	
		【未回未登録】	
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-02-27	2023-05-22
東京営業所	埼玉県	2023-05-22	2023-06-30
ビル用パッケージエアコン			【未回未登録】
		【未回未登録】	
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-06-25	2025-06-25
		【未回未登録】	
		【未回未登録】	

ログブック一覧から複数簡易点検記録一括登録ボタンを押します

2

簡易点検記録一括登録

現在表示されている機器一覧から複数のログブックを指定して一括で簡易点検記録を登録できます。(無料)

①簡易点検記録登録

フォーマット選択: -----

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン
大型冷凍機
ショーケース・業務用冷凍冷蔵庫
冷凍冷蔵庫
その他1
その他2
その他3

簡易点検を行う種類のフォーマットを選択します



5

簡易点検を一括登録しますか?

OK キャンセル

一括登録の最終確認後、管理者へ点検内容の通知が送られます



6



管理者へ点検内容
メールがいきます



管理者
(代行)

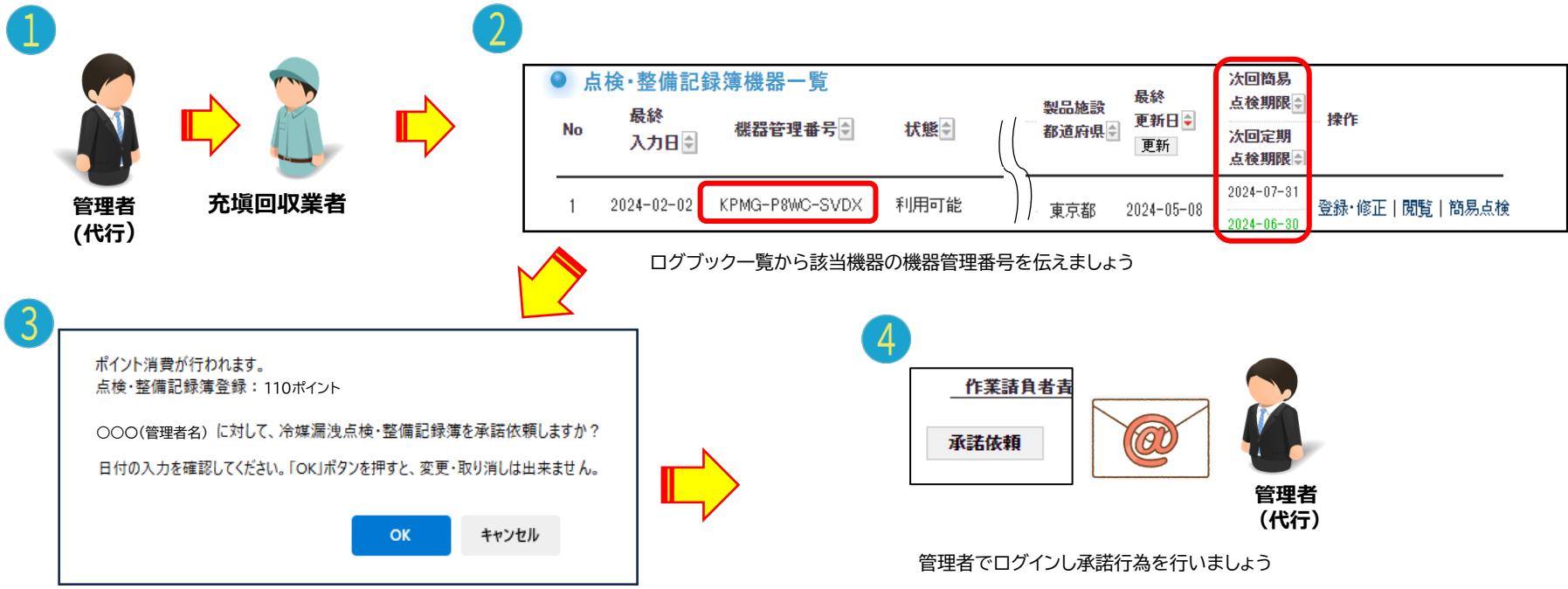
7. 定期点検① 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 定期点検業務は機器の定格出力により、1年または3年毎に実施しましょう

エアコンは圧縮機の定格出力7.5kw以上50kw未満は3年に一回以上の定期点検、圧縮機の定格出力50kw以上は1年に一回以上の定期点検
冷蔵・冷凍機器は圧縮機の定格出力7.5kw以上は1年に一回以上の定期点検

2. 充填回収業者に依頼します。対象機器の機器管理番号を伝えます。



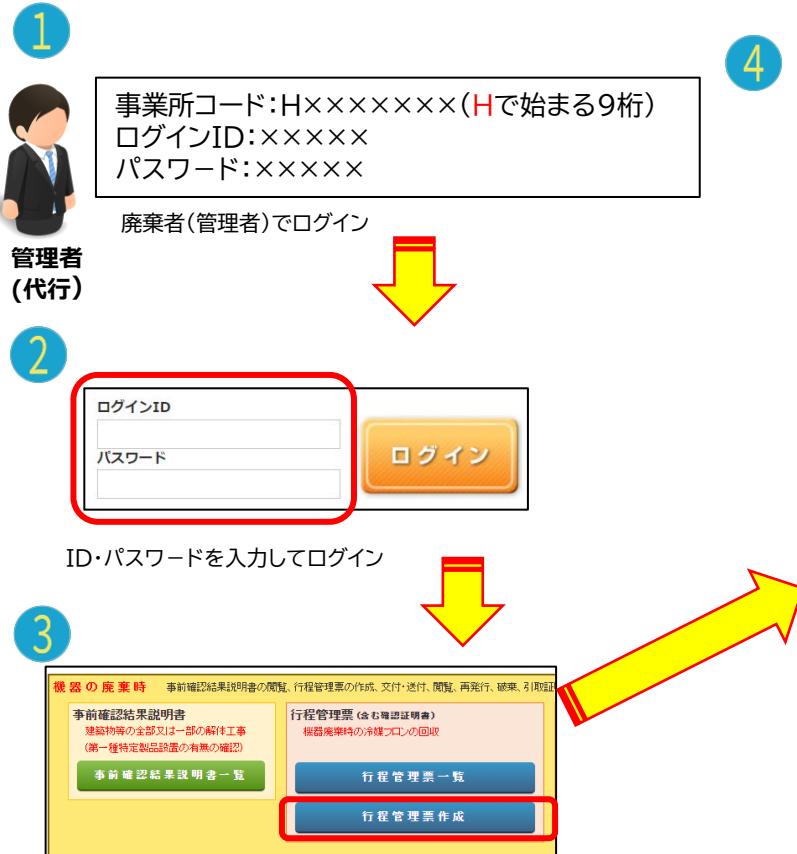
整備記録を充填回収業者が登録後、管理者へ承諾依頼の通知が送付されます

8. 行程管理票起票① 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票を起票します

第一種特定製品の廃棄者(管理者)は機器を廃棄する場合、行程管理票を起票します。取次者・充填回収業者でも行程管理票を起票できますが、起票者に費用が発生いたしますので、どの立場で作成をするかお考え下さい。ここでは**廃棄者(管理者)で起票した流れ**をご説明いたします



A票

回収依頼書
(兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

*
 廃棄 機器整備/修理
...機器整備/修理に伴う場合は次の項目は「廃棄」ではなく「機器整備/修理」を選択します
 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
...但し、確認してフロン類が残存していた場合、回収すること

機器管理番号 - - - - -
 ログブック一覧から機器を選択
ラジオボックスは複数クリックするはチェックが外れます。
ノンフロン機器の番号は入力できません。

機器所有者等の 氏名又は名称*	履歴から選択 <input type="radio"/> 事業者コードから選択 氏名又は名称を選択してください	廃棄する機器がある又は あった施設(建物)名*
上記の住所*	〒 <input type="text"/> 住所1 住所2	上記の住所* 〒 <input type="text"/> 住所検索 住所1 住所2
系統名		
担当責任者 この項目は廃棄機器 所有者に記入していた だけ項目です	部署名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>
電話番号 <input type="text"/>	FAX番号 <input type="text"/>	
廃棄する機器の種類及び台数*	建物解体(含む修繕・模様替え)の有無*	
エアコン/ディンプラー <input type="text"/> 台	<input type="radio"/> 解体(修繕等)あり <input checked="" type="radio"/> 解体(修繕等)なし	
冷蔵機器及び冷凍機器 <input type="text"/> 台		
フロン類の引渡し先*	<input type="radio"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する <input type="radio"/> 取次者に委託する	
フロン類の処理方法	<input type="radio"/> 再生希望 <input type="radio"/> 再生・破壊のどちらでも良い <input type="radio"/> 破壊希望	
■第一種フロン類充填回収業者		
第一種フロン類充填 回収業者登録番号	tokyo012345	登録都道府県 東京都
フロン類引取りの 終了又は充填セロ の確認をした年月日	引取証明書又は確認 証明書の交付年月日	
第一種フロン類充填 回収業者の氏名 又は名称*	回収業者を選択してください ジエレコ充填回収 東京都	回収技術者氏名
上記の住所*	〒 <input type="text"/> 住所1 東京都中央区丸の内 住所2	住所2
担当責任者	部署名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>
電話番号 <input type="text"/>	FAX番号 <input type="text"/>	

A票を起票します。

8. 行程管理票起票② 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票 A票の記入

A票

伝票番号 交付年月日* 入力日の日付を記入

回 収 依 賴 書
(兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

① 廃棄 機器整備/修理
…機器整備/修理に伴う冷凍機の際は、「廃棄」ではなく「機器整備/修理」を選択します

○ 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
…但し、確認してフロン類が残存していた場合、回収すること

機器所有者等の氏名又は名前*	日本ラムズ 東京(管理1)	廃棄する機器がある又はあった施設(建物)名*	<input type="text"/>
上記の住所*	〒105-0011 住所検索 住所1 東京都港区芝公園 住所2 111	上記の住所*	〒 <input type="text"/> 住所検索 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>
系統名	<input type="text"/>		
担当責任者	部署名*	氏名*	<input type="text"/>
電話番号	11-1111-1113	FAX番号	11-1111-1114
② 廃棄する機器の種類及び台数*			
<p>エアコンディショナー <input type="radio"/> 台 <input checked="" type="radio"/> 解体(修繕等)あり <input type="radio"/> 解体(修繕等)なし</p> <p>冷蔵機器及び冷凍機器 <input type="radio"/> 台 <input checked="" type="radio"/> 台</p>			
フロン類の引渡し先* <input checked="" type="radio"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する <input type="radio"/> 取次者に委託する			
フロン類の処理方法 <input checked="" type="radio"/> 再生希望 <input type="radio"/> 再生・破壊どちらでも良い <input type="radio"/> 破壊希望			
■第一種フロン類充填回収業者			
第一種フロン類充填回収業者登録番号	登録都道府県		
フロン類引取りの終了又は充填ゼロの確認をした年月日	引取証明書又は確認証明書の交付年月日		
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名前*	履歴から選択 ○ 都道府県登録番号から選択 ○ 事業者コードから選択 回収業者を選択してください	回収技術者氏名	
上記の住所*	〒 <input type="text"/> 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>		
担当責任者	部署名	氏名	
電話番号	<input type="text"/>		

A票の内容を順番に起票していきます

① 廃棄する機器をログブック一覧から選択します(複数選択可)

1件~30件(合計:49件)

No	機器管理番号	施設管理者	系統名	製品施設	設備製造者	製造番号	使用冷媒	廃棄対象
		施設名	製品分類	都道府県	形式	製造用途		操作
1	VLWN-WFTZ-Y6BF	日本ラムズ 東京(管理1)	shop10系統	東京都	ボーラー電機	PEM10S2000214	R22	<input type="checkbox"/> 閲覧
2	875F-LYE5-SCHZ	日本ラムズ 東京(管理1)	コントロールセンター	東京都	DKNC	aaakshg08450145	R22	<input type="checkbox"/> 閲覧
3	ST4R-7N20-PNKF	芝パークスクエア	ビル用パッケージエアコ	東京都	DKNPAC24lsk3		空調用	<input type="checkbox"/>
		日本ラムズ 東京(管理1)	化学品製造ライン	東京都	パナダイヤ	582149	R22	<input type="checkbox"/>
		日本ラムズ・イノベーションセンター	スクリューコンプレッサー	東京都			冷凍用・プロセス冷却用	<input type="checkbox"/>

② A票に廃棄する機器情報が反映されます

③ 充填回収業者の情報を入力します。初めての場合は、充填回収業者の事業者コード(R+9桁)を聞いておきましょう

④ 内容を確認後、回収依頼書を交付します。

dev.jreco.jp の内容

ポイント消費が行われます。
新規登録: 110ポイント

充填回収業者 に対して、回収依頼書を交付しますか?

日付の入力を確認してください。「OK」ボタンを押すと、変更・取り消しは出来ません。

※機器が選択されています。E票交付後に該当の機器のログブックが閉鎖されますか?

OK キャンセル

E票交付後に該当の機器のログブックが自動閉鎖されます

⑤ 充填回収業者の回収作業終了後、承諾依頼がきますので、廃棄者(代行)としてログインし、担当者責任者の欄に記入をして承諾します

担当責任者 この項目は必須項目です	部署名*	氏名*
----------------------	------	-----

部署名と氏名、交付日を記入し、下部の「確認画面へ」をクリックして確認画面へ進み、下部の「交付」ボタンをクリックすれば承諾完了です。

モード 状態

充填回収業者へ依頼済／回収作業中

廃棄者の行程管理票一覧の状態は充填回収業者へ依頼済/回収作業中と変化します



管理者
(代行)



8. 行程管理票起票③ 【整備者・取次者】

◆廃棄者が行う処理(イメージ) 【充填回収業者がRaMSを利用していない場合】

1. 行程管理票の処理

※廃棄時に充填回収業者からもらう紙の行程管理票は**3年間保存**してください

※充填回収業者もRaMSを利用していれば、電子行程管理票でのやり取りになる為、書類の保存期間の心配はなくなり、ログブックの該当機器のデータも、自動で閉鎖処理を行われます。

2020年施行版・行程管理票の流れ 紙の場合、廃棄者はA・E票を保存する 令和6年12月



2. RaMSのログブック一覧から該当機器を手動閉鎖処理を行う

※紙で行程管理票を受け取った場合、紙は3年間保存し、
RaMSのログブック一覧から該当機器の閉鎖処理を手動で行います。

最終更新日	次回簡易点検期限	操作	
		点検期限	操作
2024-05-08	2025-01-31	閲覧 簡易点検 パス設定	
	2025-06-30	転記 1表最新版	閉鎖
2024-04-24	2025-01-31	閲覧 簡易点検 パス設定	
	2025-04-30	転記 1表最新版	閉鎖



閉鎖理由の記入例:
機器廃棄のため→充填回収業者の情報を
入力して機器の閉鎖を行います。

状態	伝番号	作業年月	点検・整備区分	回収量 kg
完了	A001	-	出荷時初期充填量	
		2019-05-04	設置時追加充填量	
完了	A002	定期点検	0.00	1.00
		2020-05-11	直ちに修理困難な場合は子機	なし
			修理(こすれ、亀裂など)	溶接部
				溶接補修
				修理予定期

■閉鎖理由 機器廃棄のため その他
 注意:機器の所有者がRaMS上に登録している別の管理者に電子的にログブックを移管する場合は、
 ログブック一覧より1表最新版画面左下の「施設管理者を変更する」をクリックしてください。
 移管完了後、現状のログブックは自動閉鎖となります。

フロン類引取年月日またはフロン類が充填されていないことの確認を行った年月日
 2024-01-18
 入力日の日付を記入

第一種フロン類充填回収業者の氏名(会社名)
 (株)フロン回収会社

回収技術者氏名
 山田

備考
 充填回収業者がRaMSに対応していないため。
 登録番号:1234567

閉鎖